



センターだより

第32号 令和6年5月1日

自分にイエス!⇔自己肯定感

イエス!

白岡市教育支援センター



高等学校進学は[成長した自分]を感じさせるチャンス

所長 蔦澤 透

旧知のPTA役員さんから「白岡市PTA連絡協議会 進学フォーラム」で講話をする機会をいただき、高等学校説明会(白岡高等学校・花咲徳栄高等学校・昌平高等学校)の中に時間をあてられました。もちろん私は受け入れる側ではなく、支援する生徒を送り出す側です。そういう視点での話を聞きたいという求めに応じ、原稿を練りました。



伝えたいことの根本は「自分で決める」ということです。

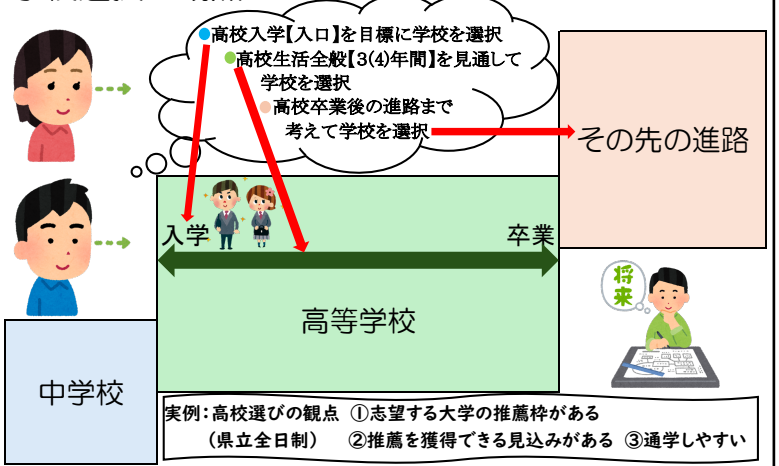
前号で述べましたが、「自分で決める」ことが「主体的行動」の原動力です。高等学校への進学に際しても「自分で決める」ことを意識してほしいと思います。

そこで、事例を紹介しました。当センターの支援員として働いていた大学生の話です。この人は県立全日制に進学しましたが、高校3年間の生活、そしてその後の進路を見通して高校を選びました。観点は3つです。自分が志望する大学の推薦枠があること、自分の学力でその推薦を獲得できる見込みがあること、そして通学しやすいことです。現在は、自分の夢を実現し、中学校の英語の教員になっています。

進学に際して「高校3年間の過ごし方」という観点をもつことは重要だと思います。入学という高校の入口ばかりに目がいってしまうと、それをゴールと勘違いして、高校生活に目的を見出せないかもしれません。また、残念なことに志望する高校に合格できなかった時には、進学することの意義まで見失ってしまいそうです。結果的に選んだ高校で「3年間をどのように過ごすか」と、前向きな気持ちで進学することを願います。

高校進学は、当人にとって最初の人生設計と言ってよい重要な自己決定です。また、その段階に成長した自分を感じさせるチャンスでもあると思います。

学校選択の観点



自分で決める

主体的に行動する原動力

高等学校への進学を[自分で決める]
人生設計に係る決断をする初めての機会
状況に応じて新たに目的を設計する機会
「成長と責任」を自覚する機会